

日田彦山線BRTひこぼしライン 水素を活用したFC(燃料電池)バスの実証運転が開始されました



日田彦山線BRT
ひこぼしライン
HIKOBOSHI LINE



日田彦山線BRT ひこぼしライン FCバスお披露目式
左から 香原勝司県議会議長、九州の自立を考える会 蔵内勇夫会長、服部誠太郎知事
九州旅客鉄道(株) 古宮洋二 代表取締役社長、Commercial Japan Partnership Technologies(株)
中嶋裕樹 代表取締役社長、眞田秀樹 東峰村長

11月15日、天神中央公園(福岡市)において、日田彦山線BRTひこぼしラインFCバス(※)お披露目式が開催され、香原勝司議長、九州の自立を考える会の会長である蔵内勇夫議員をはじめ、多くの議員が出席しました。

日田彦山線は、平成29年7月九州北部豪雨による線路被害のために添田駅～夜明駅間が不通となりました。その後、福岡県議会では日田彦山線の早期復旧と沿線地域振興のための基金等による財源確保を求める「日田彦山線復旧問題に関する決議」を可決。また、九州の自立を考える会と連携し被災現場の視察調査等を行い、地元住民の方々等の意見を広く聴取するなど、日田彦山線の早期復旧に取り組んでまいりました。

そして8月、被災から6年の時を経て、日田彦山線はBRTひこぼしラインとして復旧・開業しました。

また、この日田彦山線BRTひこぼしラインの添田駅～日田駅の区間を、水素を活用して走るFCバスが2025年春(予定)まで実証運転することになりました。お披露目式において、香原議長は「今回の実証事業は、BRTひこぼしラインにおいて、地域住民の方々や観光で来られた方などが乗車され、身近な地域公共交通を通じて、将来のエネルギーである水素に触れていただける良い機会であります。県議会といたしましても、県執行部と連携を図り、日田彦山線沿線地域の振興に取り組んでまいります」と挨拶しました。

※ FCバスとは、環境にやさしい水素と酸素を化学反応させて電気をつくり、その電気で走るバスのことです。

日田彦山線 BRT ひこぼしラインに乗ってみませんか!



実証運転中のFCバスにもご乗車できます!
日田彦山線BRTひこぼしラインの乗り方、時刻表、運賃など、詳しくはひこぼしラインHPをご覧ください。



<https://www.jrkyushu.co.jp/train/hikoboshiline/>

福岡県議会ホームページ

<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



福岡県と豪州ニューサウスウェールズ州で「水素分野における協力促進に関する覚書」を締結

日田彦山線BRTひこぼしラインFCバス実証運転をはじめ、福岡県議会では「水素分野におけるグリーン成長の推進」を最重点事項の一つとして位置づけ、水素社会の実現に向けた取り組みを行っています。

そのような中、8月グリーン水素の製造、輸出の世界的な拠点構築を目指す豪州ニューサウスウェールズ州へ知事とともに訪問し、州政府関係者と意見交換を行い「水素分野における協力促進に関する覚書」を締結することで合意しました。その後、両県州との協議を経て11月正式に覚書を締結しました。これにより、福岡県とニューサウスウェールズ州は、相互に連携し、両地域が共有して成長を目指す水素分野において、将来的なグリーン水素の北九州市響灘臨海部への輸入を視野に入れ、企業のマッチングや大学等の交流の支援に取り組んでいきます。

この覚書については、1月12日お披露目式が行われました。この式において、香原議長は「今回締結された覚書に関するニューサウスウェールズ州との協議に参加させていただき、また、お披露目する機会に立ち会えることを光栄に思います。両地域における水素関連産業がますます発展することを願っています」と挨拶しました。



本年1月に発生した令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い被災者の皆さまの生活再建と被災地の復旧・復興を祈念いたします。

定例会の概要

令和五年十二月

12月定例会は、12月1日に招集され、12月20日まで20日間の会期で審議が行われました。

今定例会には、令和5年梅雨前線豪雨災害の復旧・復興対策、安全・安心の確保に必要な経費および令和5年度給与改定に関する令和5年度補正予算議案2件、条例議案6件、専決処分したもののについて報告し承認を求める議案2件、工事請負契約の締結に関する議案7件、その他の議案8件の計25件の議案が知事より提出されました。

さらに、国の総合経済対策に基づく補正予算を最大限活用し、県民の健康・生活を支える医療・福祉施設等に対する電力・ガス・食料品等の価格高騰対策、デジタルの活用をはじめ効率性・生産性を高めることによる持続可能な社会経済の構築および防災・減災、老朽化対策に必要な経費の補正予算議案2件が追加提出されました。

審議にあたっては、本県の財政運営と来年度の方針、指定管理者制度、福祉労働問題、農林水産問題、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わされました。

審議の結果、27件について、いずれも原案のとおり可決または承認されました。

また、「ガザ地区における戦闘行為の即時停止等と恒久平和を求める決議案」が提出され、可決されました。